

# 耕平さんかわら版

立春もすぎ、春が待ち遠しい季節となりました。皆さん、いかがお過ごしですか。

## ★待ち遠しい円高の是非

ちよつと堅い話で恐縮ですが、待ち遠しいと言えば、為替相場(円相場)の動きがあります。最近の急激な円高ドル安が、日本の輸出にとってマイナスになるのではないかと心配されています。

もちろん、輸入を仕事をしている皆さんには円高はプラスですので、一概に円高が悪いとは言えません。しかし、あまりに極端な円高はちよつと何とかしなくてはなりません。

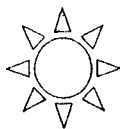
2月の6日と7日に、米国のフロリダ州でG7(先進国蔵相・中央銀行総裁会議)が開催されました。表面的には急激なドル安是正の方向で話がまとまったようですが、ドル安を絶対に何とかするとは書いてありません。玉虫色ですね。

## ★日本の介入は誰のため

政府・日銀は、円高ドル安是正のためと言うことで、昨年中には20兆円、今年1月はひと月で7兆円の介入を行っています。現在行われている国会では、介入資金が足りないということでも上限を100兆円に増やしました。スゴイ額ですね。

政府・日銀は、介入で買ったドルで、その後に米国債を買っています。つまり、米国の財政赤字をファイナンスしてあげているのです。気前がいいですね。しかし、米国の金利が上昇すると(≠米国債が値下がりすると)含み損を抱えることとなり、その損は将来的に日本≠日本国民の税金で埋めることが必要になる可能性があります。心配です。

介入や米国債購入の目的、実態、責任の所在などを、政府・日銀は国民に対して十分に説明することが必要です。



# 覚王山ゾクゾクコーナー



—— 覚王山近辺の名店を続々紹介します！ ——  
＜今回ご紹介するのは、「炭屋本舗」さんです＞

日泰寺の参道入り口から本堂に向かって少し進むと、右手に、ふと目を引く店構えの「炭屋本舗」さんがみえてきます。

炭屋本舗のオーナーは大橋具代さん。大橋さんは、日本の文化、日本の心を大事にしたいと、和の趣のある雑貨を扱うお店を名古屋に3店出しているらしいですが、中でも、この**覚王山本店**は、お店の名前の通り、炭を中心とした品揃えになっています。

本店が開店したのは1999年。和のイメージがあるだけでなく、**実生活に様々な良い効果**をもたらす「炭」に着目し、このお店を始められました。

炭は、**消臭、除湿、マイナスイオン放出、水の浄化**などの力を持つ素晴らしい素材、と説明して下さったのは小崎瞳さん。でも実は、炭に対する誤った認識もあるのだとか。皆さんもこの炭屋本舗で、炭の本当の力を引き出す極意を伺ってみてはいかがでしょうか？

炭屋本舗：052-759-5111

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@uh Kouhei.org

国会で竹中大臣、谷垣大臣に聞いてみましたが、十分な回答はありませんでした。残念なことです。いずれ、小泉さんにも聞いてみたいと思います。

介入資金の上限100兆円  
「気がよすぎませんか？」

